

1. 教育目標

- (1) 形成外科学領域の疾患の疫学、病因、病態、診断、治療、予後に関する理解を深めるとともに、自家組織移植を主体とした形成外科的治療の基礎理論を学び、さらに、それらを発展させるための研究手法を習得する。
- (2) 創傷治癒に関する研究者および臨床における指導者として必要な知識と手技を習得する。
- (3) 頭蓋・顎・顔面外科の専門家として必要な知識および技能を得る。

2. 到達目標

- (1) 自家組織移植の安定性に関係する因子を理解する。
- (2) 末梢神経再生の機序を理解する。
- (3) 創傷治癒に関する基礎的知識を習得する。
- (4) 顔面骨折の診断および治療ができる。
- (5) 顔面先天異常の発生についての知識を深める。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

学位論文作成過程で、口頭試問などによって知識を確認するとともに進捗状況を評価する。(20%)

さらに発表会における質疑応答で最終確認を行う。(80%)

4. 教科書・参考書

特に定めず、必要に応じて参考資料を提供する。

5. 準備学習

講義等の予習として、その内容に関連のある外国語文献を検索して、1時間程度目を通しておく。

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【形成外科学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	症例検討 研究経過報告と関連論文の抄読	垣淵主任教授 西本臨床教授	月曜/4限	通年	4	カンファレンスルーム
講義	顔面骨折の診断と治療 再建外科学	垣淵主任教授 石瀬講師	火曜/4限	半年	2	カンファレンスルーム
実験研究	形成外科疾患の診断・治療 形成外科手術の実践	河合臨床准教授 石瀬講師	月曜/1・2限	通年	4	病棟
実験研究	耳介先天異常の発生機序の分析	河合臨床准教授 石瀬講師	金曜/1・2限	通年	4	研究室

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	症例検討 研究経過報告と関連論文の抄読	河合臨床准教授 石瀬講師	月曜/6限	通年	4	カンファレンスルーム
講義	顔面骨折の診断と治療 再建外科学	垣淵主任教授 西本臨床教授	火曜/6限	半年	2	カンファレンスルーム
実験研究	形成外科疾患の診断・治療 形成外科手術の実践	河合臨床准教授 石瀬講師	水曜/6・7限	通年	4	病棟
実験研究	耳介先天異常の発生機序の分析	河合臨床准教授 石瀬講師	木曜/6・7限	通年	4	研究室

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	河合臨床准教授 石瀬講師	月曜/4限	半年	2	カンファレンスルーム
実験研究	皮膚欠損創における創傷治癒促進または阻害物質の検索	垣淵主任教授 西本臨床教授	金曜/4・5限	半年	2	研究室
実験研究	眼瞼先天異常の発生機序の分析	垣淵主任教授 西本臨床教授	金曜/4・5限	半年	2	研究室
実験研究	顔面神経再生の動物実験モデル作成	西本臨床教授 河合臨床准教授	火曜/1・2限	半年	2	研究室
実験研究	皮膚・皮下組織内の微小循環動態の解析	西本臨床教授 河合臨床准教授	火曜/1・2限	半年	2	研究室

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	垣淵主任教授 西本臨床教授	月曜/6限	半年	2	カンファレンスルーム
実験研究	皮膚欠損創における創傷治癒促進または阻害物質の検索	垣淵主任教授 西本臨床教授	木曜/6・7限	半年	2	研究室
実験研究	眼瞼先天異常の発生機序の分析	垣淵主任教授 西本臨床教授	木曜/6・7限	半年	2	研究室
実験研究	顔面神経再生の動物実験モデル作成	河合臨床准教授 石瀬講師	金曜/6・7限	半年	2	研究室
実験研究	皮膚・皮下組織内の微小循環動態の解析	河合臨床准教授 石瀬講師	金曜/6・7限	半年	2	研究室